

●AR-4 定格仕様


操作コイル	定格電圧	AC 100 V (50/60 Hz) AC 200 V (50/60 Hz)
	消費電力	1.5 VA 以下
	許容電圧変動範囲	85 ~ 110%
定格負荷 (誘導負荷)		AC 250V 1.5 A (COSφ = 0.4)
定格通電電流		4 A
最小印加時間		1.5 sec
最小休止時間		0.2 sec
絶縁抵抗		DC 500 V メガにて100 MΩ 以上 (導電部端子一括と非充電金属部分間)
耐電圧		1500 V 50/60Hz 1分間 (導電部端子一括と非充電金属部分間)
耐久振動		10 ~ 55 Hz 複振幅 1.5 mm
耐久衝撃		100 m/s ² (約 10 G)
寿命	機械的	1000万回以上 (定格負荷 開閉頻度: 1800回/時)
	電氣的	100万回以上 (定格負荷 開閉頻度: 1800回/時) 但し水位リレーと組合せた場合
使用周囲温度		-10 ~ +55 °C (氷結しないこと)
使用周囲湿度		45 ~ 85 %RH (結露しないこと)
外形寸法 (ソケットを含む)		58 × 40 × 84.5 mm (縦 × 横 × 高さ)
重量		75g

AR-4

自動交互運転リレー


省エネ・省スペース、省メンテナンス。
安心・信頼・高機能を小型化！



ご購入はこちら 



弊社ホームページ上部の『製品について』へ進み、『AR-4のご購入はこちらから』のボタンでかわでんDirectへ移動し、型式、数量、送付先などの必要事項を入力してください。

 **安全上のご注意** ●ご使用前に取扱説明書をお読みの上、正しくご使用ください。商品の仕様等は改良のため変更することがあります。

株式会社 かわでん

<http://www.kawaden.co.jp/>

東京本社 〒108-0075 東京都港区港南3-8-1 5階
営業本部
TEL 03-6433-0135 FAX 03-6433-0136

本社 〒999-2293 山形県南陽市小岩沢225
技術開発部
TEL 0238-50-0228 FAX 0238-49-2016

北海道・東北支社	〒984-0051	仙台市若林区新寺1-4-5 (NORTHPIA3階)	TEL 022-292-4161	FAX 022-292-4162
関東支社	〒330-0802	さいたま市大宮区宮町2-81 (いちご大宮ビル3階)	TEL 048-650-8551	FAX 048-650-8552
首都圏第一支社	〒108-0075	東京都港区港南3-8-1 6階	TEL 03-6433-2461	FAX 03-6433-9095
首都圏第二支社	〒108-0075	東京都港区港南3-8-1 6階	TEL 03-6433-2697	FAX 03-6433-9113
エッジ・リンク部	〒108-0075	東京都港区港南3-8-1 6階	TEL 03-6433-2998	FAX 03-6433-9124
関西・中部支社	〒532-0011	大阪市淀川区西中島1-11-16 (北館2階)	TEL 06-6100-1723	FAX 06-6100-1738
西日本支社	〒812-0068	福岡県福岡市博多区店屋町1-35 10階	TEL 092-263-9800	FAX 092-263-9801
九州工場	〒840-0214	佐賀県佐賀市大和町大字川上4583-1	TEL 0952-51-2051	FAX 0952-51-2052

株式会社 かわでん

製品特長

省スペース、配線の省力化のAR-4。
ポンプ2台の自動交互運転制御をコンパクトに
実現できます。

●自動交互運転切替機能で故障時 も安心

運転中の故障の際、もう一方へ、自動的に切り換える自動運転切替機能があり、中断することなく運転可能。

●合理的なコンパクトタイプ

遅延リレーを電子化し、補助リレーと同一のプリント配線板上に一体としましたので、信頼性がアップし、省エネ、省スペース化が実現可能。

●プラグイン方式なのでメンテナンス も簡単

接続は、取外しが容易なプラグイン方式を採用し、メンテナンスが簡単。

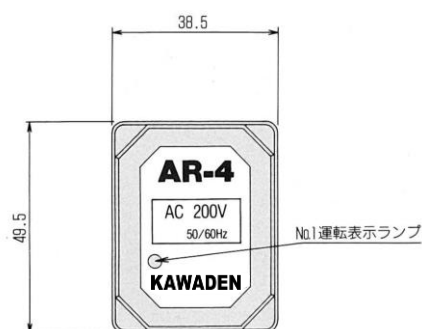
●DINレールへも取付可能

リレーソケットは市販の汎用品が使用でき、DINレールへの取り付けも可能。

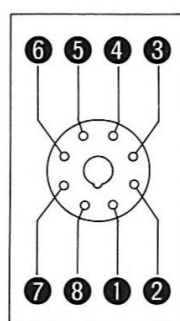
●便利な運転表示

No.1運転表示機能があり、動作確認に便利。

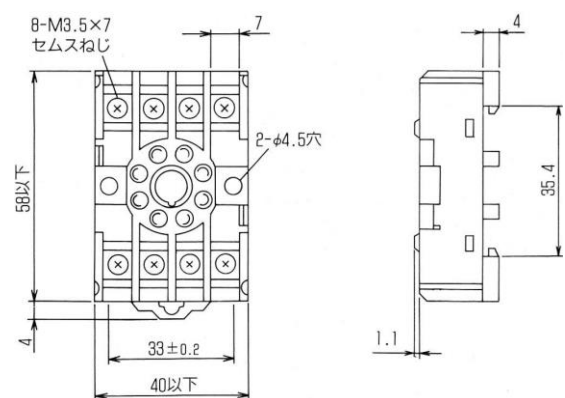
●外形寸法図



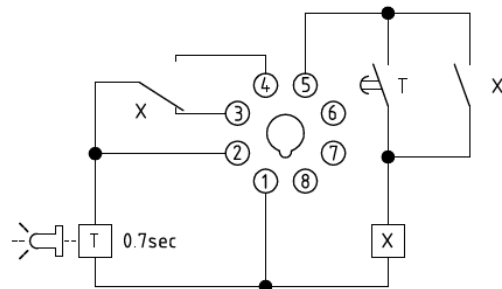
●端子配置図



●推奨ソケット外形寸法図 (オムロンPF085A)



●内部接続図



注) 1.ソケットはDINレール取付可能です。
2.保持金具(オムロンPFC-A6)は御要求により取付可能です。

動作説明

(自動交互運転接続図例参照)

水位リレーからの出力接点33がONにより、電磁開閉器42-1が動作して自己保持し、内部遅延リレーTが約0.7秒後に動作して内部補助リレーXを動作させます。

このとき、内部補助リレーXは自己保持すると共に、そのC接点Xは、もう一方の電磁開閉器42-2を選択して準備しています。

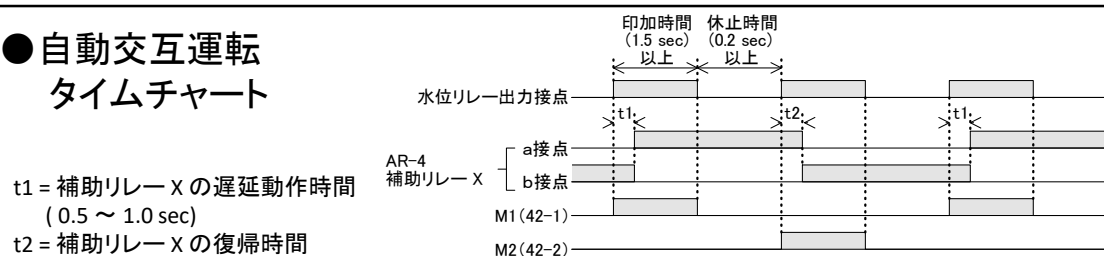
次に33がOFFすると、42-1が復帰しますが、Xは自己保持しています。

再び33がONすると、今度は42-2が動作して自己保持すると共に、Xが復帰して元の状態に戻ります。

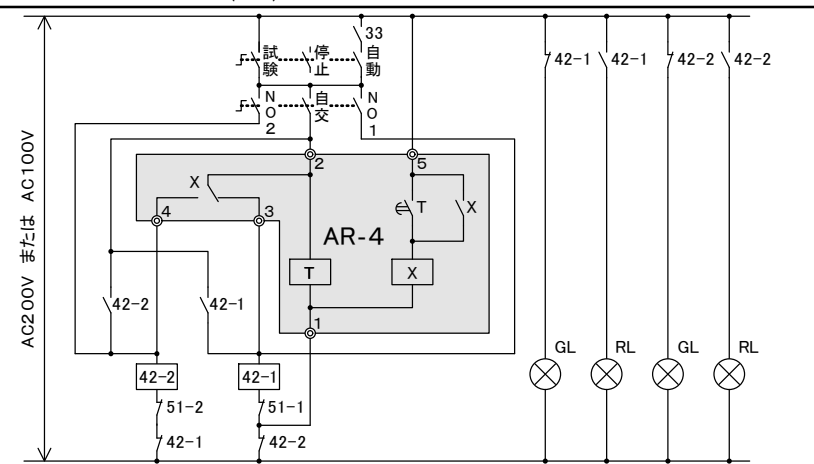
以上のように33のON、OFFにより、42-1と42-2は順次交互動作を繰り返します。

運転中の過負荷故障の際は、C接点Xが、もう一方を選択していますので、自動的に切り替わり、中断することなく運転できます。

●自動交互運転 タイムチャート



●自動交互運転 接続図例



●自動交互同時 運転接続図例

